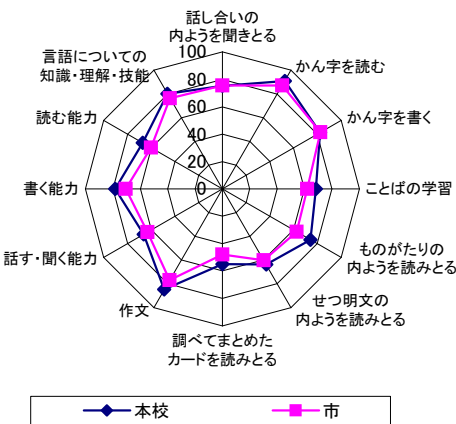


宇都宮市立緑が丘小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	75.3	75.4
	かん字を読む	90.9	87.2
	かん字を書く	82.3	82.5
	ことばの学習	68.3	62.0
	ものがたりの内ようを読みとる	74.2	62.5
	せつ明文の内ようを読みとる	63.8	60.3
	調べてまとめたカードを読みとる	54.8	48.0
	作文	84.8	76.8
観点別	話す・聞く能力	66.4	63.0
	書く能力	78.2	70.6
	読む能力	67.2	60.2
	言語についての知識・理解・技能	80.2	76.3



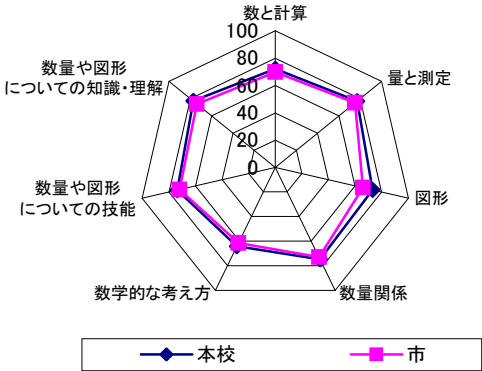
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	・本校の平均正答率は75.3%で、市の平均正答率75.4%とほぼ同じである。設問別に考察すると「話し手の考えの共通点を聞き取り、話すこと」の正答率が低く、大切なことを落とさず話す力がついていないと考えられる。	・学習全般に教師の話友達の発表等、聞き取りの場面はたくさんある。人の話を集中して聞く態度を学習だけでなく、生活の中でも指導していきたい。話の中心は何か、大切なことは何かを落とさずに聞き取るために、メモをとりながら聞いたり関連のあることと結びつけながら聞いたりさせたい。また、自分の考えをもって生活させていきたい。
かん字	・本校の平均正答率は漢字の読みが90%を超えているものの漢字の書きではわずかに市の正答率82.5%を下回っている。漢字をおおよそ読むことはできるが、書くことを苦手としている。第2学年配当漢字でありながら、書くことのできない児童が多いた。	・現学年の新出漢字だけでなく、第2学年の既習漢字の復習も交えながら、朝の国語スキルの時間や宿題、自主学習等を活用し、漢字の完全習得を目指していきたい。そのためには、漢字の筆順・読み・書きの練習を繰り返し行い、正確に書くこと、文章の中に既習漢字を多く使っていくことを心がけさせ、漢字ミニテストで確認していくなど、習熟を図っていきたい。
ことばの学習	・本校の平均正答率は、68.3%で市の平均正答率を上回っている。設問別に考察してみると、「国語辞典の使い方」「ローマ字」が身に付いていない。	・国語の授業や朝の国語スキルタイム等、漢字の学習場面を捉え、国語辞典を活用する機会を多くしていきたい。漢字辞典の引き方についても、しっかり覚えて慣れるよう、指導を徹底していきたい。また、ローマ字の表記については身の回りで使われている例をとりあげて指導していきたい。
ものがたりの内ようを読みとる	・本校の平均正答率は、74.2%で、市の平均正答率62.5%を上回っている。特に、「登場人物の気持ちを読み取ること」の正答率が高く、読み取る力が定着している。	・物語文の文脈に即した内容の理解は、よくできているので、さらに多様な分類の図書を読みたいと思うような読書指導をしていきたい。また、授業や宿題で辞書を引く機会を多くし、辞書に慣れ親しませ語彙力をつけていきたい。
せつ明文の内ようを読みとる	・本校の平均正答率は63.8%で、市の平均正答率より上回っている。設問別に考察すると「細かい点に注意して文章を読み取ること」は高い正答率を示しているが、「文章の要点に注意して読み取ること」や「文と文とのつながりを考えながら読み取ること」は低い。	・説明的文章の読み取りでは、段落ごとの指導が必要である。指示語の内容を理解させ、文や段落相互の関係を押さえ、文章の組み立てに注意しながら、要旨を捉えていくようにさせたい。また、1つ1つが筆者の訴えたいことに結びついていくことを丁寧に指導していきたい。さらに、説明的な文章の図書を紹介し、読書量を増やしていきたい。
調べてまとめたカードを読みとる	・本校の平均正答率は、54.8%で、市の平均正答率48.0%を上回ったものの、「適切な言葉づかい」や「資料の正しい読み取り」には課題が見られる。	・資料を正しく読み取った上で適切な言葉を使って表現できるように、資料から読み取ったことを小グループで伝え合うなど表現の場を設定したい。また、発表用の文章を丁寧な言葉で書く練習もさせるようにしたい。
作文	・本校の平均正答率は、84.8%で市の平均正答率76.8%を上回っている。解答内容を考察してみると、「がんばっていることを2段落構成で書く」問題であったが、指定された長さ・2段落・書くことなどの中心など、指定された条件を守って書くことができていた。	・今後も文章を書く機会を多くし、文章表現力を高めていきたい。また、作文指導においては、個別指導を徹底し、既習漢字を使って文章を書くことや、作文形式のきまりについても習得できるように努めたい。

宇都宮市立緑が丘小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	72.1	69.8
	量と測定	77.2	75.2
	図形	73.1	65.7
	数量関係	74.7	73.1
観点別	数学的な考え方	64.1	61.7
	数量や図形についての技能	73.5	72.0
	数量や図形についての知識・理解	77.2	73.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・本校の平均正答率は72.1%で、市平均を2.3%上回っている。わり算の計算問題や大きさを分数で表す問題などが市と比べても特に正答率が高かったが、文章問題の除法の立式や条件に合う場合を説明する問題の正答率が特に低かった。活用力・表現力がまだ不十分である。	・知識・理解、計算技能などの基礎基本は比較的に身に付いてきているので、授業やスキルの時間を活用し引き続き育てていきたい。四則の意味を再確認し正しく文章問題の立式ができるよう力を入れていくと同時に、授業での課題解決学習やグループでの学び合いなどを通し、表現力・活用力をさらに育てていきたい。
量と測定	・本校の平均正答率は77.2%で、市平均を2.0%上回っている。はかりに示された重さの読み取りの問題などが市と比べても特に正答率が高かったが、身近にあるものの長さを推察して適切な単位を用いて表す問題の正答率がやや低かった。	・長さなどの単位を学ぶ際には、実際に測定したり体験したりする活動をもっと増やし、単位に対する感覚をさらに磨いていきたい。また、時刻と時間や距離と道のりの違いなどがまだしっかり理解できていない児童も見られるので、算数の3年のまとめの時間などを用いて、十分理解し活用していけるようにしたい。
図形	・本校の平均正答率は73.1%で、市平均を7.4%上回っている。直方体の長さの等しい辺の数を答える問題が市と比べても特に正答率が高かったが、直方体の性質を活用して問題に足りない面を見つけ答える問題の正答率がやや低かった。	・直方体の各部分の呼び方や性質など基本的な知識を理解している児童は多いが、それをもとに筋道を立てて考え、結論を導き出すことが苦手な児童が多い。授業での課題解決学習やグループでの学び合いなどを通し、表現力・活用力をさらに育てていきたい。
数量関係	・本校の平均正答率は74.7%で、市平均を1.6%上回っている。□を使った文章問題を表した図を見つける問題や棒グラフを読み取り条件に該当する項目を見つける問題などは特に正答率が高かったが、□を使った式に合った文章問題を選ぶ問題の正答率は特に低かった。	・文章問題の立式が苦手な児童にとっては、文章を読んで□を使った式で表したり、逆に□の式を見てそれに合った文章問題を選ぶ問題は困難である。今後の3年のまとめの時間などを用いて四則の意味を再確認し文章問題の立式のこつなどを徹底して指導していきたい。そのうえで、□を使った式の表し方や求め方などを理解させ、活用できるようにしていきたい。